

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身多機能型デイサービスすまいるず(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日の活動プログラムや四季に合わせた行事やイベントで子どもたちが楽しめるよう準備をしている。	活動への取り組み方法を一人ひとりの特性や機能に合わせた道具を職員で話し合いながら、手作りをしている。	さらに利用日が楽しみになるような活動プログラムを職員間で考えていき、安心して楽しく過ごせる居場所づくりに努めています。
2	子ども一人ひとりのコミュニケーションを大切にしたい手厚い支援が出来る。	1対1の関わりを大切にしたい個別の担当制を取り入れることで、一人ひとりとじっくり向き合うきめ細やかな支援を行っている。	引き続き各職員がきめ細やかな関わりについての意識を高く持ち、子どもたちと関わっていく。また、職員の更なるスキルアップを目指し研修受講の機会を設けていく。
3	利用中のお子様の様子について、連絡帳で日々の活動等を詳細にお伝えしている。	日々の様子について、活動の様子の写真を連絡帳に添付することで、お子様の楽しそうな表情や様子をお伝えできている。	Instagram等のSNSを利用し、写真だけではなく動画でリアルタイムの様子をお伝えするようにしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用人数やニーズによっては支援スペースが狭いと感じる。	個々の身体に合わせた椅子やバギーを置いているため、支援スペースの場所がとられてしまう。	使用しない時の保管スペースの確保
2	地域との関わりや連携が弱い。	支援学校の幼稚園に通われている児童のご利用しかないこともあり、他保育園や地域との関わりや連携が出来ていないことから、今後何か行えることがないか考えていきたい。	パンフレット等を持参してまずは事業所を知ってもらうことや、散歩等で地域の方と普段から関わっていけるような取り組みを検討していく。
3			